

情報公開用文書

2026 年 8 月 7 日作成

研究課題名	末梢動脈疾患に対するアフエリス治療を受けた患者の血液が血管内皮機能に及ぼす影響の検討
研究の対象	過去に横浜市立大学先端医科学研究センターバイオバンク室に検体提供をされ、研究利用に同意しオプトアウト手続きにより利用が認められている方
バイオバンクから提供する試料	医学研究への協力をお願いについて説明を受け、包括的同意の確認書で同意を得られた方の試料 健常者血清 6人 採取期間:2021年6月1日～2025年7月31日
研究目的・方法	従来治療が困難な末梢動脈疾患の治療においてアフエリス療法が広く行われていますが、その詳細なメカニズムについては未だに不明な点が多く、アフエリス療法を受けた患者さんから治療前後に採取した血液の変化を検討し、今後の医療に役立てることを目的としています。 先行する別研究(CURE-PAD study)においてアフエリス療法開始前および終了後に得られた血液検体の残余をヒト血管内皮細胞に加えて培養し、細胞の様々な性質(細胞生存率、炎症性サイトカイン産生量、細胞増殖能、等)に変化が起こるかを解析します。比較対象として、末梢動脈疾患のない方の血清を細胞に対して同じように用いて、細胞の性質を評価します。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2029年 3月 31日
研究に用いる試料・情報の種類	試料:血清検体6人分(一人あたり1mL) 情報:年齢、性別
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、検体採取日
お問い合わせ:	
○研究に関することは 研究責任者へ	所属:腎臓・高血圧内科 氏名:涌井広道 メール:hiro1234@yokohama-cu.ac.jp 電話:045-787-2800
○研究への利用を拒否する場合は 横浜市立大学附属病院 バイオバンク室 事務局 メール:sentanbb@yokohama-cu.ac.jp 電話:045-787-2800	